



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月14日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL <http://www.cellseed.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 細野 恭史 TEL 03-5286-6231
 管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	15	△47.8	△176	—	△189	—	△189	—
25年12月期第1四半期	28	32.0	△116	—	△162	—	△163	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △200百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △145百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△22.28	—
25年12月期第1四半期	△24.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	3,950	3,204	80.8	368.32
25年12月期	2,784	2,536	90.9	309.70

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 3,194百万円 25年12月期 2,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

当社グループは、当期業績予想について全体数値の公表を行っておりません。定性的な今後の経営計画につきましては平成26年2月14日公表「中期経営計画（平成26年12月期～平成28年12月期）」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期 1 Q	8,674,419株	25年12月期	8,169,419株
② 期末自己株式数	26年12月期 1 Q	127株	25年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期 1 Q	8,508,625株	25年12月期 1 Q	6,745,783株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、当期業績予想について全体数値の公表を行っておりません。定性的な今後の経営計画につきましては平成26年2月14日公表「中期経営計画（平成26年12月期～平成28年12月期）」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策と金融緩和策の効果から円安・株高が進行し、全体的には、緩やかな回復基調で推移しました。企業収益は徐々に改善の方向に向かいはじめ、雇用状況も順調に量的拡大をみせはじめてはいるものの、一方で消費増税等の影響が懸念されるなど、その先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、平成26年3月4日から3月6日に第13回日本再生医療学会総会が開催され、再生医療に関わる様々な発表・提言が行われました。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。また資金調達活動として平成26年3月20日に、次世代細胞シート再生医療パイプライン（他家軟骨再生シートなど）及び先端的シーズの研究開発、細胞シート再生医療第1号製品の事業化推進などへの資金充当を目的とした第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第12回新株予約権の発行を実施いたしました。

上述のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は15,018千円（前年同四半期比13,778千円の減少）、営業損失は176,844千円（前年同四半期比59,892千円の増加）、経常損失は189,089千円（前年同四半期比26,384千円の増加）、四半期純損失は189,607千円（前年同四半期比26,600千円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する共同研究開発活動に取り組みました。また第13回日本再生医療学会総会（平成26年3月4日から3月6日、国立京都国際会館）の付設展示会に当社ブースを出展等、当社器材製品の積極的な販売促進活動にも取り組みました。一方で受注状況といたしましては、前年同四半期に大口先から受けていた発注が、当期は第2四半期以降に見込まれることなどから売上高は前年同四半期より減少いたしました。

以上のような活動の結果、売上高は15,018千円（前年同四半期比13,778千円の減少）営業損失は19,176千円（前年同四半期比22,791千円の増加）となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、複数の細胞シート再生医療医薬品パイプラインに関する研究開発を推進しております。

当社は「事業提携」の実現により、細胞シート再生医療第1号製品の事業化を図ることを中期経営計画の第1の柱としており、その実現のため前期に引き続き特定の相手方と交渉を推進いたしました。また中期経営計画の第2の柱として定めた、中長期的な企業価値成長を目指した「戦略分野への先行投資」の実現のため、平成26年3月20日に次世代細胞シート再生医療パイプライン（他家軟骨再生シートなど）及び先端的シーズの研究開発、細胞シート再生医療第1号製品の事業化推進などへの資金充当を目的とした第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第12回新株予約権の発行を実施し、必要資金の獲得を推進いたしました。

以上のような活動の結果、営業損失は101,414千円（前年同四半期比33,971千円の増加）となりました。（当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,165,609千円増加し、3,913,298千円となりました。これは主に、新株予約権の行使を通じた新株の発行などにより現金及び預金が1,177,896千円増加したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて580千円増加し、37,519千円となりました。これは主に、有形固定資産の購入などによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,166,190千円増加し、3,950,817千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,792千円減少し、246,532千円となりました。これは主に、賞与引当金が8,027千円、前受金が4,536千円、未払金が1,707千円それぞれ増加し、未払法人税が12,550千円減少したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末と比べて500,000千円増加し、500,000千円となりました。これは、平成26年3月20日に発行した無担保転換社債型新株予約権付社債によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて498,207千円増加し、746,532千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて667,983千円増加し、3,204,285千円となりました。これは主に、新株予約権の行使を通じて新株を発行したことにより資本金が432,658千円及び資本準備金が432,658千円それぞれ増加した一方で、四半期純損失189,607千円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

当社グループは、当期業績予想について全体数値の公表を行っておりません。定性的な今後の経営計画につきましては平成26年2月14日公表「中期経営計画（平成26年12月期～平成28年12月期）」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の発行及び行使による資金調達並びに全社的な支出抑制の実施により、前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,688,727千円となり、財務基盤については大幅な改善を実現しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載は実施しておりませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を目的とした事業提携の実現

当社グループは、引き続き特定の相手方と守秘義務契約を締結して事業提携交渉を進めております。当四半期連結会計期間までに具体化したものはございませんでしたが、当社グループはこれらの交渉を通じた事業提携の実現を当該状況の解消を図る上での最優先課題と位置付けて引き続き推進していく所存です。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,688,727	3,866,623
売掛金	9,959	11,193
商品及び製品	7,913	11,004
仕掛品	6,885	2,377
原材料	388	337
前払費用	21,602	13,451
その他	12,212	8,310
流動資産合計	2,747,688	3,913,298
固定資産		
有形固定資産	—	1,257
無形固定資産	—	165
投資その他の資産	36,938	36,095
固定資産合計	36,938	37,519
資産合計	2,784,627	3,950,817
負債の部		
流動負債		
買掛金	867	835
未払金	50,999	52,707
未払法人税等	19,719	7,169
賞与引当金	—	8,027
前受金	160,021	164,558
その他	16,716	13,234
流動負債合計	248,324	246,532
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	500,000
固定負債合計	—	500,000
負債合計	248,324	746,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,877,807	5,310,466
資本剰余金	4,857,807	5,290,466
利益剰余金	△7,289,024	△7,478,632
自己株式	△201	△201
株主資本合計	2,446,390	3,122,100
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	83,599	72,857
その他の包括利益累計額合計	83,599	72,857
新株予約権	6,312	9,328
純資産合計	2,536,302	3,204,285
負債純資産合計	2,784,627	3,950,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	28,796	15,018
売上原価	16,860	13,400
売上総利益	11,936	1,618
販売費及び一般管理費		
研究開発費	54,521	81,155
その他	74,366	97,306
販売費及び一般管理費合計	128,888	178,462
営業損失(△)	△116,951	△176,844
営業外収益		
受取利息	23	236
為替差益	—	407
その他	574	285
営業外収益合計	598	929
営業外費用		
為替差損	17,086	—
株式交付費	2,252	5,070
支払手数料	27,012	7,893
その他	—	211
営業外費用合計	46,351	13,175
経常損失(△)	△162,704	△189,089
税金等調整前四半期純損失(△)	△162,704	△189,089
法人税、住民税及び事業税	302	518
法人税等合計	302	518
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△163,007	△189,607
四半期純損失(△)	△163,007	△189,607

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△163,007	△189,607
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	17,718	△10,741
その他の包括利益合計	17,718	△10,741
四半期包括利益	△145,289	△200,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145,289	△200,349
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年1月30日から平成26年1月31日にかけて、UBS AG London Branchから第11回新株予約権の行使による払込を受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が432,658千円、資本準備金が432,658千円増加し、資本金が5,310,466千円、資本準備金が5,290,466千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注) 1			調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,796	—	28,796	—	28,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,796	—	28,796	—	28,796
セグメント利益又は損失(△)	3,615	△67,443	△63,828	△53,123	△116,951

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△53,123千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注) 1			調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,018	—	15,018	—	15,018
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,018	—	15,018	—	15,018
セグメント損失(△)	△19,176	△101,414	△120,591	△56,253	△176,844

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△56,253千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。